

灘菊酒造株式会社

お酒と食文化のハーモニー

1910年より姫路・手柄の地で日本酒を醸し続けています。
 3,000坪の敷地に創業時よりの酒蔵が建ち並ぶ佇まいの中で、風情ある酒蔵を利用した直売所や酒蔵見学をお楽しみいただいております。また、地元食材を中心にした、伝統の調理方法にこだわった「酒蔵の膳」のおもてなしで、和食文化の追及に励んでおります。
 魚町の「串揚倶楽部 蔵」・小溝筋の「酒饌亭 灘菊」は直営店です。
 「お酒と食文化のハーモニー」をモットーに、社員一人ひとりがお酒のプロ・食文化のプロを目指しております。

商号	灘菊酒造株式会社
本社	〒670-0972 姫路市手柄1-121
創業年	1910年(明治43年)
設立年	1910年(明治43年)10月1日
資本金	3,300万円
従業員数	30名
事業内容	清酒製造・販売、飲食業



酒蔵



杉玉



商品ラインナップ

「原点はお酒の神様を祀る門前で醸したい」

手柄山の南山の生矢神社はお酒の神様をお祀りしております。
 その門前で味醂、白酒の醸造業を営む川石孫次郎の三男 川石酒造作が社祖。本家より東200mの現在地に独立し、日本酒造りを始めました。
 社名の「灘菊」は、姫路の前に広がる海「播磨灘」の「灘」と花の「菊」を合わせたものが由来です。



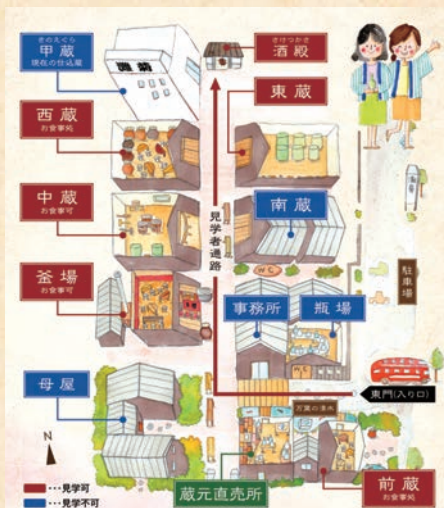
生矢神社三本杉

「時代の先を見る目」

初代 川石酒造作 49歳と短命でしたが世界観を持った創業者でした。
 二代 川石 幸作 戦前の酒造りを戦後の新しい酒造りに果敢に取り組みました。
 三代 川石 雅也 ニッカウキスキーでの経験を活かして飲食業に…
 城下町ガイドなど地域と一体の経営を…
 木造酒蔵の一部を改装した酒蔵レストランを併設。酒造りに加え、年間約10万人に利用いただく施設運営により、観光業の一翼を担う。
 四代 川石 光佐 女性が好むSAKEを目指して、世界に挑戦…
 「酒造技能士1級」、「(社)南部杜氏組合杜氏試験合格」と、確かな酒造りの知識を基に、「旬のお酒を一番おいしい状態」でお届けする、全国でも珍しい女性杜氏。

「次たる100年に向けて」

世界の人がやってくる街“姫路”
 世界の名醸地“はりま”
 世界に誇る“姫路の発信力”
 皆に愛されるしっかりと酒造り・趣のある酒蔵レストラン・すべて手作りの酒蔵料理を通じ、はりま・姫路の魅力を多くの方に届けてまいります。



鳥瞰図



外観

Since 1910